

令和6年度都立小山台高校における教科指導の重点

教科	重点課題	取組	発展的取組
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」の指導の充実。 ・「話すこと・聞くこと」の指導の充実。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科会で年間指導計画を共有。 ・百人一首大会の開催。 ・小論文指導についての科内研修の実施。 ・「話し合うこと」に関する言語活動の指導についての科内研修の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3年生の入試小論文や記述問題の添削を科内で分担する。 ・「探究型学習」と関連させた資料活用や小論文の指導。 ・アクティブラーニングの積極的活用。
地歴公民	<ul style="list-style-type: none"> ・多面的・多角的に考察し、公正に判断する能力と態度の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的な「知識及び技能」の確実な習得が出来よう授業を実施 ・問題解決の過程において、論理的に考察する活動を重視した授業を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度の評価を取り入れた授業の実施
数学	<ul style="list-style-type: none"> ・知識・技能の着実な定着を図る指導の充実。 ・思考力・判断力・表現力の養成を図る指導の充実。 	<ul style="list-style-type: none"> ・長期休業中の課題として定期考査の振り返りを実施 ・年2回「到達度テスト」の計画的な実施 ・ICTを活用した学習機会の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・長期休業中の講習会に設置する講座を組織的に配置 ・難関大対策講習会を計画的に実施
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の意欲・関心を引き出す授業の創出 ・「探究の過程」をふまえた学習活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・演示実験や生徒実験による探究的な学習機会の確保 ・ICT機器、TeamsやForms等を活用した授業実践 	<ul style="list-style-type: none"> ・探究型学習やアクティブラーニングを取り入れた授業実践 ・大学入学共通テストや難関大入試問題の分析および授業や講習への還元
英語	<ul style="list-style-type: none"> ・まとまった内容を適切な英語で書き、話す指導の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・4月の教科会で各科目の年間目標を確認 ・学期に1回パフォーマンステストを実施 ・各科目の目的に即した方法での発表活動を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・7月 国際交流プログラム参加留学生との交流実施 ・英語各資格検定試験のスコアアップへのサポートを強化 ・1学年は12月にスピーチコンテストを実施
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒全員が安心・安全かつ主体的に調理実習を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・3人グループ編成とし、1クラスを1時間毎前後半に分けて、密を防ぎながら全員が一品作る実習を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・全員が一品を作れる実習を2回実施する ・食品ロスやリサイクルなど環境に配慮した取組を実践する